

## 【三川町】

### 1人1台端末の利活用に係る計画

#### 1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

1人1台端末及び高速大容量ネットワークを中心とするICT環境を活用することで、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実による、主体的で対話的で深い学びの実現を目指す。

特に、デジタルの優位性を生かすことで、児童生徒が学習の方法やツールなどを自分で選択し、多様な他者と協働しながら、学習者主体の学びを実現する。そして、すべての学習の基盤となる情報活用能力や、自己調整力の育成を目指す。

#### 2. GIGA第1期の総括

文部科学省によるGIGAスクール構想に基づき、本町では令和2年度からタブレットやネットワークの整備等を開始し、ICT活用を推進してきた。

それと並行し、学習支援システムやデジタルドリルなどのソフト面も段階的に導入し、個別最適な学びの実現に努めた。

Webフィルタリングソフトを導入していたこともあり、1人1台端末の授業や家庭での活用は日常的になりつつあるが、現在も学校・教職員間でのICTスキルに差が見受けられることから、活用方法の改善について検討が必要である。

#### 3. 1人1台端末の利活用方策

##### (1) 1人1台端末の積極的活用

1人1台端末の積極的活用を進めるため、全国の「リーディングDXスクール」指定校の成果など、先進校の取組事例を広げ、端末やクラウドを活用した授業づくりを推進する。

また、その実現に向けて、教員研修の充実や相談体制の強化等を実施していくほか、授業や動画教材等を通して児童・生徒たちの情報モラルや情報リテラシーの向上を図る。

##### (2) 個別最適・協働的な学びの充実

児童生徒が学習方法や学習過程等を選択し、自己調整しながら学習を進める姿や、教師が学びの伴走者として支援する姿の具体を全教員が共有できるように研修を実施する。

そのことによって「児童生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面」、「教職員と児童生徒がやりとりする場面」、「児童生徒同士がやりとりする場面」、「児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面」等での1人1台端末の活用率向上を目指す。

### (3) 学びの保障

端末が破損した場合でも、予備機の運用及び速やかな修繕を実施する体制を構築し、1人1台の端末環境を維持する。

希望する不登校児童生徒へ端末を活用した授業への参加、希望する児童生徒への端末を活用した教育相談等、実態に応じた学びの保障を行っていく。